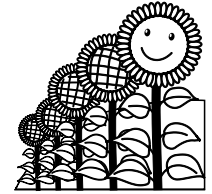




1 学年だより

第6号 令和5年8月31日



7月までの振り返り

7月25日の全校集会で、1組の加藤陽莉さんが学年の代表として「入学から7月までの振り返り」を発表しました。

入学してから約4ヶ月が経ち、日常がいろいろ変わりました。はじめは何をしたらよいか分からず困っていましたが、今では少し中学生活にも慣れてきました。例えば日直の仕事です。小学校では日誌などなかったので1回目の日直のときは、どのように日誌を書けばよいのか分かりませんでした。今では朝学活、終学活の進め方、日誌の書き方など入学当日よりも慣れてきました。

学習面では、英語、保健体育が小学生の時と大きく変わりました。小学生のときは、色や食べ物などの単語を学習することが中心でしたが、中学生では、文章や英会話を詳しく学んでいます。保健体育では、小学生の時より保健の回数が増え、健康の成り立ちなどを詳しく学んでいます。次は頑張りたい教科です。私の頑張りたい教科は2つあります。1つ目は数学です。文字式や方程式を特に頑張りたいです。もう1つは理科です。今は密度や濃度を学んでいます。これからも復習に力を入れて頑張りたいです。また、1回目の定期テストでは、テスト勉強を始めた時期が少し遅かったため十分に勉強できませんでした。次のテストでは、夏休みから勉強して備えたいです。特に、理科、数学、社会を頑張りたいと思います。

最後に夏休み明けの学校生活についてです。夏休み明けからは、自分が中学生ということをもっと自覚して生活して行きたいと思います。



道徳紹介

道徳

題材名	教材について	生徒の考え・感想・振り返りなど(道徳ノートから引用)
自分で決めるって?	入学して間もない時期に、物事を自分の意志で決められずに後悔したり悩んだりする等身大の中学生の姿を例に挙げ、自主的に判断し、実行してその結果に対して責任をもつことを考えさせる教材である。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で何かを決めるとき、大切なのは、どんなことだと思うか。 ・決断力と自分の意思が大切。 ・他人の意見にとらわれずに、自分の気持ちに素直になることが大切だと思う。 ・よく考えることが大切。
道徳の授業を始めよう	「道徳で何を学ぶの?」は、道徳の内容項目がキーワードとして一覧になっている。キーワードには、生徒自身のつぶやきのようなひと一言がそれられている。「どうやって学ぶの?」は、道徳の授業では「自分」との対話、「他者」との対話を通して道徳的な価値への考えを深めていく教材である。	<ul style="list-style-type: none"> ○中学1年生として、1年間、特に考えていきたい、学んでいきたい、伸ばしていきたいと思うキーワードを3つ書こう。 ・生命の尊さ(命の大事さや尊さについて考えていきたい。) ・自律(自分から行動し、自律する心を育てたい。) ・友情(本当の友情とは何か学びたい) ・思いやり・感謝(感謝がどれだけ大切か、しっかり学びたい。) ・礼儀(礼儀をきちんとしたら、嫌な思いをする人も減るから。) ・相互理解・寛容(互いを理解した方が、もっつ中が深まるから。)
「養生訓」より	江戸時代の学者、貝原益軒が健康について書いた「養生訓」の一部をもとにした教材である。	<ul style="list-style-type: none"> ○健康に毎日を送るために大切なことは何だろう。 ・規則正しい生活を送ること。 ・普段やっていることを習慣づけて行動し、たまに息抜きで好きなことをしてストレス発散する。 ・やるべきことを先にして、無理はせず、よく食べる!寝る!動く!ことが大切。
夢をあきらめない 「ねぶた師」 北村麻子	父をねぶた師にもつ北村麻子が、困難を乗り越え、初の女性ねぶた師を目指す姿を描いた取材文である。	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の授業で感じたことや考えたこと、大切だと思ったこと。 ・夢をかなえるためには、諦めないこと。 ・努力することが大切である。 ・夢を追うためには、勉強も大切だと思った。



